

【展覧会】吉田初三郎、片野正巳
 【電車公演】ウォーリー木下、きたまり、服部正太郎、い
 むろなおき、平林之英、野瀬杏子、花本ゆか、男肉du
 Soleil、人形劇団クラルテ
 【トーク】菅谷富夫、中川家、丹羽美之、矢内一磨
 photo: 佐伯慎亮



【展覧会】相川誠、伊東篤宏、宇治野宗輝、江崎將史、
鈴木昭男、藤本由紀夫、八木良太、和田晋侍
【電声公演】伊東篤宏、鈴木昭男、和田晋侍
【ライブ】ATAK Dance Hall(渋谷登一郎+evala)、
有馬純寿、宇治野宗輝&ザ・ローレーターズ、尾引浩志、
SEKITOYA、竹澤悦子、野村誠、三村村打団?
【ラジオ】江南泰佐、西玲子、川崎弘二
【トーク】沖野修也、金光正年、齋藤貴弘
photo: 井上嘉和



【展覧会】THE COPY TRAVELERS(加納俊輔/迫軌平/上田良)、Oscar Peters、飯田和敏
 【電車公演】桂三度、浅野達彦、飯田和敏、THE COPY TRAVELERS、小川哲生、Oscar Peters
 【ライブ】NEW MANUKE、DJ 4 【茶会】ホンマタカシ
 【トーク】入江政安、神出計、ゲーム菩薩グループ、佐々木敦、中島直人、松原始
 photo: 守屋友樹



【展覧会】西野達、横山裕一、しりあがり寿
 【電車公演】山川冬樹、伊藤キム
 【パフォーマンス】contact Gonzo、Jecko Siompo
 photo: 表恒匡(SANDWICH GRAPHIC)



【プロデュース】ホンマタカシ 【展覧会】黒田益朗、
小山友也、NAZE、PUGMENT、沼沼執太、ホンマ
タカシ、MAJESTY・ヴェルカカ&ミュー・ライオンクラブ
【企画公演】オカルタイズ、沼沼執太、PUGMENT、
ホンマタカシ、米子匡司 【パフォーマンス】小山友也、
contact Gonzo, dot architects、NAZE、沼沼
執太、PUGMENT、三重野真 【ツアー】黒田益朗、
ホンマタカシ 【トーク】因幡雅文、小川哲生、おっ
と、諏訪敦彦、千葉雅也、塚本由晴、南後由和、西谷真
理子、港千尋
photo: 井上嘉和



【展覧会】小沢裕子、Jompet Kuswidananto、
武田晋一
【電車公演】岡田利規、青柳いづみ、七尾旅人、YPY
【ツアー】橋本梓
【トーク】いとうせいこう、佐伯康考、富永達、吉見俊哉
輪島裕介
photo: 表恒匡



【プロデューサー】やなぎみわ

【展覧会・公演】石黒虎、あごうさとし、フォルマント兄弟

松本雄吉、やなぎみわ

【電車公演】秋田哲二郎、フォルマント兄弟、北村千鶴

功刀武弘、古味寛康、重森三果、ニシジマアツシ、森

美和子、中川裕貴、案内嬢合唱団

【トーク】市川明、伊東信宏、國吉和子、永田靖、西堂

行人、前川修、山口明洋

photo: 井上嘉和



【展覧会】五十嵐大介、インビジブル・デザインズ・ラボ、
榎忠

【電車公演】環ROY×鎮座DOPENESS×島地保武
×岡直人、和泉希洋志、鈴木裕之、NAZE

【トーク】野林厚志、卯城竜太、ヴァーゼル・ホーキンス、
鳩澤歩、北村亘

photo: 福永一夫



【展覧会・party】contact Gonzo, dot architects
 【party】アフリーダ・オーブラート / フランソワ・アルデ
 テ / ウンディーネ / ショクラ・ド・ショクラ、中間アヤカ、
 DEEP RIM(荒木優光 + 栗原ペダル)、藤谷香子
 【トーク】飯尾次郎・中村睦美、酒井健、栗原康、佐々木
 勝、堀井亮
 photo: 松見拓也



【プロデューサー】松岡正剛

【展覧会】はてしなく有栖、いしんじゅ、柴崎友香、東手はよりこ、町田康

【電車公演】松岡正剛、山本精一、春野恵子

【トーク】桂南光、川崎和男、久坂部洋、小松和彦、鈴木正太郎、洞本昌哉、齋藤孝司、中川和彦、仲野徹、萩原浩司、横井公也、福岡純、星貢一、宮脇隆一、吉村祥、坂上友紀

【ワークショップ】青山ゆみこ、内田樹、谷口忠大、王岡かおる、二村知子、安田登

photo: 井上嘉和



【プロデューサー】立花文樹

【展覧会】立花文樹、荒木健雄、石田干、高山なおみ、長崎馴子、齋藤圭吾、トウバケンイチ、ナイジェルグ
ラフ、テニスコート、中野浩二、コンタクトゴンゾ、マロバヤ、
太陽バンドと野村卓史、片貝葉月、藤久豊美、葛西絵
里香、伊勢克也、島武実、修竹正康

【電車公演】高山なおみ、テニスコート

【ライブ】太陽バンドと野村卓史 トーク）木戸宏、築山
拓矢、植木啓子、東明彦、訂原直樹

photo: 松見拓也



【展覧会・映画】contact Gonzo, dot architects
 【パフォーマンス】池田家、今治から来たDJ、小川しゅん一、大野知江、たこ焼きシーケンサー(八木良太、真下武久、近藤忠)、塚原家、中間アヤカ、水内義人、山田春江、やんツツ
 【トーク】東志保、老川慶喜、加藤肇、柴崎隆一、杉山淳一、濱口竜介、山本千寛
 photo: 吉見綾



京阪電車中之島線「なにわ橋駅」地下1階コンコース（Osaka Metro「淀屋橋駅」「北浜駅」から徒歩約5分）「なにわ橋駅」①出入口が最寄りです。直通のエレベーターはございませんので、車いすでお越しの場合は、あらかじめアートエリアB1までご連絡いただきますようお願いします。

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-1
京阪電車なにわ橋駅地下1階



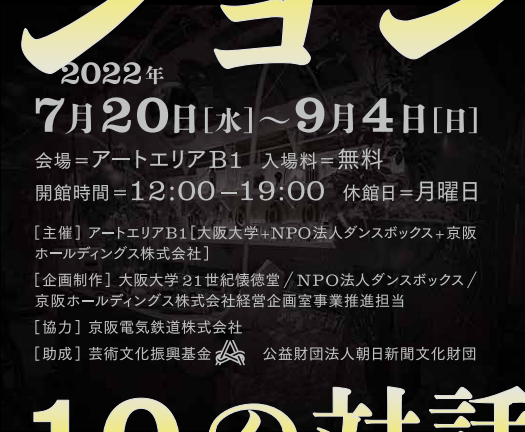
鉄道



芸術祭 vol.0~10



A collage of images related to the 2022 Creative Exhibition. The collage includes a person's legs in black shoes, a red floor, a globe, and various art installations. The text "Creative Exhibition" is written in large, stylized letters across the top, and "2022年" is written in the bottom right corner.



展覧会の記録をめぐる10の対話



京阪電車中之島線建設中の2006年から、企業・大学・NPO法人が協働で、都市空間における駅の可能性を模索する「中之島コミュニケーションカフェ」を実施。これを継承して2008年10月19日の中之島線開業を機に、なにも橋駅の地下1階コンコースに「アートエリアB1」を開設した。ここでは様々なプログラムを実施し、「文化・芸術・知の創造と交流の場」となることを目指しています。

【主催】アートエリアB1 [大阪大学+NPO法人ダンスボックス+京阪ホールディングス株式会社] 【企画制作】大阪大学21世紀懐徳堂／NPO法人ダンスボックス／京阪ホールディングス株式会社経営企画室事業推進担当【協力】京阪電気鉄道株式会社

7

7月のスケジュール

内容は予告なく変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

リ・クリエーション ～展覧会の記録をめぐる10の対話～

会期	2022年7月20日[水]—9月4日[日]
----	-----------------------

■会場:アートエリアB1 ■開館時間:12:00—19:00 ■休館日:月曜日 ■入場料:無料
※内容は予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください。

メディアパートナー	
稲田 浩	『RiCE』、『RiCE.press』編集長
小崎 哲哉	『REALKYOTO』編集長
齋藤 精一	Panoramatiks主宰
橋本 梓	国立国際美術館主任研究員
矢野 優	『新潮』編集長
岩淵 貞哉	『美術手帖』総編集長
金森 香	NPO法人DRIFTERS INTERNATIONAL代表
瀬尾 浩二郎	株式会社セオ商事代表 取締役／『ニュー Q』編集長
松村 貴樹	『IN/SECTS』編集長
渡邊 朋也	山口情報芸術センター〔YCAM〕 ドキュメント・コーディネーター

「鉄道芸術祭」とは？ 「鉄道芸術祭」は、アートエリアB1で2010年から毎年開催してきた企画展です。“鉄道”には、車両や路線図、列車が走る線路や駅舎・ホームなど、先進的な技術や魅力とともに、そこにまつわる文化や歴史があります。駅コンコースの場の特性を活かした本企画では、鉄道の魅力やそこにまつわる技術、文化、歴史等を多角的に捉え、アーティストとの協働による実験的な展覧会を12年間に亘って開催しています。

新たなアーカイブの可能性を切り拓く「リ・クリエーション」

芸術文化の領域において、アーカイブに関する議論や取り組みは決して珍しいものではありませんが、作品の保存と継承の範囲に留まっていることも事実です。そこで社会の変遷や人々の価値観の転換を多様な視点から捉え続けてきた「鉄道芸術祭」では、vol.0～10の12年間の記録をもとに企画を展開します。主にはドキュメント展とともに、編集、企画、アーカイブ、メディアや現代美術・文学・哲学・デザインといった各分野の専門家をメディアパートナーに迎え、10の対話を繰り広げます。本企画では、時代とともに進化を遂げるメディアの発展や文化史の変遷を視座に、鉄道芸術祭の記録物等を素材とした「リ・クリエーション」を通じて、アーカイブの可能性を探索します。

vol.1 (2011) 「西野トラベラーズ ― 行き先はどこだ? ―」



vol.2 (2012) やなぎみわプロデュース「駅の劇場」



vol.3 (2013) 松岡正剛プロデュース「上方遊歩46景～言葉・本・名物による展覧会～」



トークプログラム 展覧会の記録をめぐる 10の対話

編集、企画、アーカイブ、メディアや現代美術・文学・哲学・デザインといった各分野の専門家10名をゲストに迎え、各人と展覧会やアートプロジェクトのアーカイブの活用を巡るトークプログラムを開催します。

会場観覧	定員:30名程度／会場:アートエリアB1
オンライン視聴	アートエリアB1YouTubeチャンネルにてライブ配信

その1 岩淵貞哉さんを迎えて

現代の美術の動向を幅広い側面から捉えてきた伝統誇る美術雑誌『美術手帖』の編集長である岩淵貞哉さん。美術専門誌を編集する観点から、他分野にわたるテーマの鉄道芸術祭をどのように捉らえ、展覧会の記録・編集の可能性について対話を繰り広げます。

日時	7月22日[金] 19:00—21:00
----	----------------------

岩淵 貞哉 (いわぶち・ていや)
『美術手帖』総編集長。1975年、横浜市生まれ。1999年、慶応義塾大学経済学部卒業。2002年、美術出版社に入社、『美術手帖』編集部へ配属。2007年に同誌副編集長、2008年に編集長に就任。2017年、ウェブ版『美術手帖』をオープンし、2018年からは紙とウェブ版の『美術手帖』総編集長に就任。

その2 橋本梓さんを迎えて

国立国際美術館にて「THE PLAY since 1967 まだ見ぬ流れの彼方へ」や「Viva Video! 久保田成子展」など、過去の記録を展覧会として再構築する独自企画を手掛けてきた橋本梓さん。キュレーターの視点から、展覧会記録の活用の意味性などについて対話を繰り広げます。

日時	7月31日[日] 14:00—16:00
----	----------------------

橋本 梓 (はしもと・あずさ)
国立国際美術館主任研究員。1978年、滋賀県生まれ。2008年より同館に勤務。担当した主な展覧会に、2016年「THE PLAY since 1967 まだ見ぬ流れの彼方へ」、共同企画に2018年「トラベラー:まだ見ぬ地を踏むために」、2021年「Viva Video! 久保田成子展」(第32回倫雅美術奨励賞受賞)など。

展覧会サポートスタッフ募集! オープンミーティング

本展の運営をサポートしていただくサポートスタッフ募集のための説明会を兼ねたオープンミーティングを開催します。これまで鉄道芸術祭に関わったことがある方はもちろん、そうでない方も大歓迎です。現代美術だけでなく、編集や記録などに関心がある方、ぜひご参加ください。

日時:7月6日[水] 19:00—20:30
定員:30名程度(無料/申込不要/当日先着順) 会場:アートエリアB1

レクチャー&対話プログラム

ラボカフェ

ミュージックカフェ / 日本センチュリー交響楽団 presents 「ハイドンマラソン」を楽しむための音楽講座
第23回 ハイドン大學

【時間】19:00—20:30 【オンライン観覧】YouTube LIVE(無料/申込不要)
【実会場観覧】定員30名程度(1,000円/要申込/先着順)
【申し込み先】センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311(平日10:00～18:00)

日本センチュリー交響楽団がハイドンの交響曲全104曲の演奏&録音に挑む「ハイドンマラソン」。今回は、日本センチュリー交響楽団首席指揮者の飯森範親が講師役で登場!センチュリーとユースオケの合同アンサンブルによる弦楽四重奏の演奏も交えた濃密90分です!これまで演奏会に行ったことがないという方もぜひお気軽にご参加ください。講師:飯森範親(日本センチュリー交響楽団首席指揮者) 演奏:センチュリーとユースオケの合同アンサンブル カフェマスター:園田郁・久保田テツ(大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻)

大阪大学21世紀懐徳堂シリーズvol.5 教育と福祉を架橋する①
ヤングケアラー・パネルディスカッションを開催して

【時間】18:00—19:00 【オンライン観覧】YouTube LIVE(無料/申込不要)
【実会場観覧】定員30名程度(無料/申込不要/当日先着順)

子どもと若者の成長・発達・成熟を見守り、支え、促すための取り組みを紹介する「教育と福祉を架橋する」シリーズ。第1回のテーマは、「ヤングケアラー」と呼ばれる、一般的には大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に担っている子どもと若者をめぐる取り組みです。ゲスト:岡部美香(大阪大学・人間科学研究科・教授/大阪府教育委員)、村上靖彦(大阪大学・人間科学研究科・教授/同研究科附属未来共創センター・センター長)、櫻井緑(大阪大学・人間科学研究科・教授/マイノリティ教育ラボ・代表) カフェマスター:上林梓(大阪大学21世紀懐徳堂特任研究員)

京阪沿線カフェ
京都洛北 ～生命を育んできた森と水と人々～

【時間】18:30—20:00 【オンライン観覧】YouTube LIVE(無料/申込不要)
【実会場観覧】定員30名程度(無料/申込不要/当日先着順)

古来より京都洛北には、森と水と人々とが「織細」に関わることで、それらの生命を育んできた歴史があります。NPO法人「京都洛北・森と水の会」に参画する30社等は、その中で生まれた知恵や信仰、自然に囲まれた四季折々の美しさ等の文化的価値を共有し、互いに結束することでその魅力を国内外に発信しています。今回は、その活動とともに洛北の魅力をご紹介します。ゲスト:松田亮海(大本山狸谷山不動院貫主/ NPO法人京都洛北森と水の会理事長) カフェマスター:長瀬元紀(京阪ホールディングス株式会社経営企画室事業推進担当主幹)

クリエイティブアイランド中之島
企業が取り組む現代アートの活かし方～街づくり編～

【時間】15:00—16:30 【オンライン観覧】YouTube LIVE(無料/申込不要)
【実会場観覧】定員30名程度(無料/申込不要/当日先着順)

「ART OSAKA」は、国内で最も長い歴史を持ち、現代美術に特化したアートフェアです。今年は、中之島の大阪市中央公会堂と、北加賀屋のクリエイティブセンター大阪の2会場で7月6日～11日に開催されます。その見どころとともに、現代アートがより身近な都市環境へ出ていくことで生まれる効能について、ゲストとともに対話を繰り広げます。ゲストスピーカー:深井厚志(一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパン) スピーカー:森裕一(一般社団法人日本現代美術振興協会) カフェマスター:木ノ下智恵子(大阪大学21世紀懐徳堂准教授)

プロジェクトミーティング
美術館のいま(14)～西宮市大谷記念美術館～

【時間】19:00—20:30 【オンライン観覧】YouTube LIVE(無料/申込不要)
【実会場観覧】定員30名程度(無料/申込不要/当日先着順)

西宮市大谷記念美術館は、元昭和電極(現SECカーボン株式会社)社長・大谷竹次郎の邸宅とコレクションの寄贈を受けて、1972年にオープン。日本やフランスを中心とした近代絵画のほか、近年注目を集める絵本原画や具体美術協会などの阪神間で花開いた芸術文化を発信しています。開館50周年を記念した展覧会の紹介や、コロナ禍の「いま」とその先の美術館のあり方や可能性について、対話を繰り広げます。ゲスト:越智裕二郎(西宮市大谷記念美術館館長) カフェマスター:木ノ下智恵子(大阪大学21世紀懐徳堂准教授)

西宮市大谷記念美術館は、元昭和電極(現SECカーボン株式会社)社長・大谷竹次郎の邸宅とコレクションの寄贈を受けて、1972年にオープン。日本やフランスを中心とした近代絵画のほか、近年注目を集める絵本原画や具体美術協会などの阪神間で花開いた芸術文化を発信しています。開館50周年を記念した展覧会の紹介や、コロナ禍の「いま」とその先の美術館のあり方や可能性について、対話を繰り広げます。ゲスト:越智裕二郎(西宮市大谷記念美術館館長) カフェマスター:木ノ下智恵子(大阪大学21世紀懐徳堂准教授)

お知らせ

アートエリアB1 YouTubeチャンネル <https://bit.ly/aab1ch> ライブ配信の視聴はコチラ➡

プログラムをご観覧いただく際には、ウェブサイトにて注意事項をご確認・ご了承のうえ、ご観覧ください。感染拡大の状況によっては、開催方法・時間等に変更が生じる場合がありますので、ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。

●会場へご来場の皆様へ  <https://artarea-b1.jp/news/42/>

●オンラインにてご視聴の皆様へ  <https://artarea-b1.jp/news/502/>